

---

# 悪夢

rutu

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

悪夢

### 【Nコード】

N7235J

### 【作者名】

r u t u

### 【あらすじ】

怠慢な学生に起こった目が覚める出来事。

過去にやってしまったこと。今しかできないこと。明日やりたいこと。

## 悪夢の序

「僕の中に君はいるのだから？」

「君の中に僕はいるだろうか？」

ただそれだけ確認したかったから。つ

僕は向かうよ、君のもとへー

19歳 学生

12月、4月から始まった大学生活ももう半年以上が過ぎ、慣れと  
いうか怠惰な生活が続いていた。

そんなある日彼はやって来た。

”ピンポン”

ネットで「コードレスマウス」を購入したのを思い出し「はい」の  
一言返事で扉を開けた。

そこにいたのは…

「誰？」思わず声に出してしまった。

ぼろぼろのジーンズを履き、薄汚れた緑のパーカーを着た中年の男。  
頭部はもつとひどい、ぼさぼさの髪は目までかかり、無精ひげを立  
派にたくわえたその口は「こいついつちゃってるな」と思わせるよ  
うに笑っている。でもなぜか濁った眼はどこか芯があり、俺をじっ  
と見つめている。

明らかに宅配業者の類ではない。では友人？いや、自分が一番嫌  
いなタイプの人間「不潔野郎」を友人なんかにする訳がない。友人  
の変わり果てた姿とか、だったら「残念・バイバイ」としか言いよ  
うがないが…。

「俺か」

何か不審者がしゃべった。その目からは黒い大粒の液体が、涙が  
頬を伝っていた。

う…こいつホンモノさんだ。初めてみたよ変質者。露出狂、スト

「カーなど思い浮かぶ。

こいつはどのジャンルにも分類できなさそうだ、新手か。「変な人には近づくな」全人類みな兄弟の共通意識であるこの言葉が私の脳内に響きわたっている。

「失礼」

扉をすつと閉めた。いや閉まらない。

「あれっ？」

男は扉をしつかりと掴んでいたのだ。びくともしない。

私は最終手段である叫ぼうとした瞬間。

男はそのまま扉を力ずくで開け、私の顔の近くに汚らしい口を近づけ囁いた。

「目をそむけるな」

なぜかその言葉に私の悲鳴は打ち消されていた。

正確には声が出なかった。

殺されると思った。

でもこいつ何かが違う…

「時間が無い」男は続ける

分かった俺がこの男を一番嫌いな理由。

「俺はお前だ…」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7235j/>

---

悪夢

2010年10月9日00時35分発行